

令和6年度 筑豊地区中学校総合体育大会 剣道大会 要項

主催 筑豊地区中学校体育連盟

遠賀郡中間市各市町教育委員会

主管 遠賀郡中間市中学校体育連盟

1 日 時

令和6年7月22日（月曜日）

開 場 8時00分
受 付 8時30分
開 会 式 9時30分
審判会議 9時40分
競技開始 9時50分

2 会 場

岡垣サンリーアイ ウェーブアリーナ 岡垣町野間 1-2-1 TEL 093-282-1515

3 参加資格

- (1) 筑豊地区中学校総合体育大会開催基準及び『特別規定』による。
- (2) 中学校における引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員（部活動指導員含む）とする。ただし、教育職員（部活動指導員含む）以外のコーチは、学校長が認め、筑豊地区中体連に登録し承認を受けた者とする。地域クラブ活動における引率・コーチは、県中体連に登録し、承認を受けた責任ある代表者・指導者とする。

4 参加制限

	田川	直鞍	遠中	嘉飯	合計
女子団体戦	1	1	4	6	12
男子団体戦	2	2	4	4	12
女子個人戦	3	3	7	11	24
男子個人戦	5	5	10	12	32

5 表 彰

男女とも団体戦は3位まで、個人戦は1位のみ賞状を授与する。

6 県大会出場資格

団体戦：男女ともに上位5校、個人戦：男女ともに上位6名は、7月29日（月曜日）30日（火曜日）に岡垣サンリーアイ ウェーブアリーナにて行われる県中学総体剣道大会への出場資格を得る。なお、県大会出場資格を得たチーム及び個人は県大会に参加する義務を負う。

7 申し込み

筑豊専門部長より各地区専門部長に選手登録名簿をメールで送り、それを出場校宛てに送付する。出場校顧問は入力後、下記へ7月15日（月）までに返送する。

返信用メールアドレス ashichu@ashichu.town.ashiya.fukuoka.jp

8 各地区専門部長

地区	氏名	学校	学校住所	TEL	FAX	専門部長
嘉飯	共田 興平	稲築東義務	〒820-0203 嘉麻市平 1536	0948-42-0130	0948-43-0774	
直鞍	赤星 マミ	直方第二	〒822-0002 直方市頓野 4082	0949-26-0657	0949-26-0659	
遠中	今川嘉津磨	芦屋	〒807-0113 中ノ浜 10-74	093-223-0058	093-223-0511	○
田川	中村昇大朗	田川西	〒826-0025 大黒町 11-6	0947-44-0087	0947-44-0166	

9 出場制限

団体戦の選手は、男女とも3～5名、補員2名とする。3名の場合は次鋒と副将を、4名の場合は次鋒を空ける。

10 競技規則

全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則」「同細則」及び「剣道試合・審判運営要領」並びに本大会申し合わせ事項により行う。申し合わせ事項とは、筑豊地区専門部会における確認事項および「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法」をいう。

11 競技方法

- (1) 団体戦は男女とも3校での予選リーグを行い、各パート1位による決勝トーナメント戦を行う。個人戦は、トーナメント戦で行う。
- (2) 試合順序は、男女共に団体戦予選リーグ、県大会出場校決定戦、準決勝、決勝の順で行う。決勝戦の後に10分程度のクーリングタイムをとり、その後男女個人戦を行う。

12 試合規則

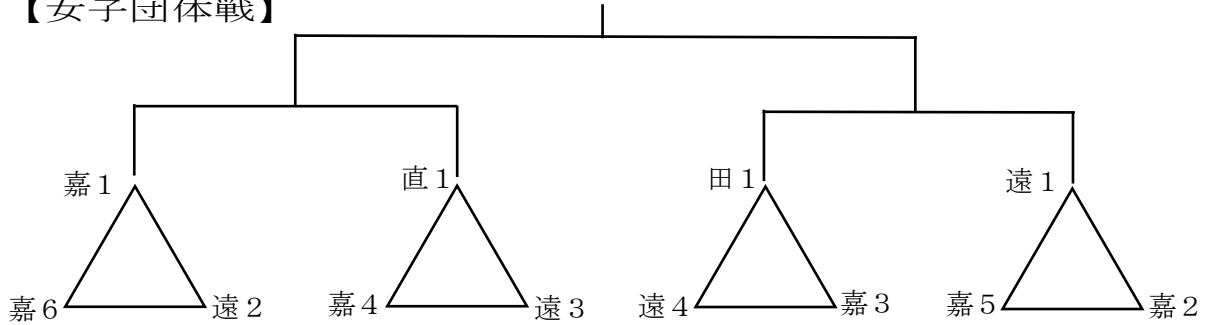
- (1) 団体戦での補員の選手起用は、試合前までに監督が審判主任へ申し出る。なお、この場合には補員は交代者の位置とし、オーダーの変更ならびに交代者の再出場は認めない。
- (2) 予選リーグは、3分三本勝負。時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。大将戦を終えて総勝数・総取得本数が同数の場合は任意の代表者による決定戦を行う。代表戦は、3分一本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は決するまで延長戦を行う。代表戦の勝数及び得本数は順位表に含まない。
- (3) 予選リーグでの順位決定については、次のとおりとする。
① 学校単位の勝数 ② 勝者数の合計 ③ 取得本数の合計
3校が1勝1敗で並んだ場合には総勝者数、総取得本数の順で順位を決め、なお同数の場合には任意の代表者による決定戦を行う。代表戦は3分一本勝負、勝敗の決するまで延長戦を行う。試合順は監督により抽選によって決め2連勝したチームが決勝トーナメントへ進出する。
- (4) 決勝トーナメントは3分三本勝負。時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。大将戦を終えて総勝者数、総取得本数共に同数の場合は任意の代表者による決定戦を行う。代表戦は3分一本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は決するまで延長戦を行う。
- (5) 団体戦、個人戦ともに県大会出場が決定した後の順位決定戦（3位～6位）は行わず、抽選とする。
- (6) 個人戦は3分三本勝負。時間内に勝敗が決しない場合は決するまで延長戦を行う。
- (7) 団体戦の代表戦ならびに個人戦の延長戦は、勝敗の決するまで2分刻みで行う。延長戦を2回行っても勝敗が決しない場合は、「小休止（深呼吸をする程度）」をとる。さらに延長戦を2回行っても勝敗が決しない場合は「休息・給水」時間を3分間とする。
「小休止」は、立ったまま納刀し、開始線付近で10秒程度深呼吸を行わせる。
「休息・給水」は立ったまま納刀し、選手席に戻り面を外し、所定の位置で水分補給を行う。時間は3分間とする。時間は審判主任が、両選手が面を外してから計測し、審判主任の合図で選手は面をつける。「休息・給水」の際は、審判員は控え席に戻る。給水の間に監督やコーチなどからのアドバイスはできない。
- (8) その他
 - ① 竹刀は1m14cm以内とし、重さは男子440g以上、女子400g以上とする。竹刀の先端部分の直径は、男子25mm以上、女子24mm以上とする。竹刀先革の長さは50mm以上とする。竹刀検量は行わない。選手及び監督は事前に竹刀の破損等を確認しておく。
 - ② 面ひもの長さは結び目から40cm以内を厳守する。長い場合は試合の前後で切断する。
 - ③ 団体戦では先鋒戦および大将戦の場合、監督・コーチ・選手ともに正座する。監督・コーチの服装は審判員に準ずる。
 - ④ 「変型な構え等の防御姿勢（いわゆる三所隠し等）」をとった場合、1回目を合議の上「指導」、2回目以降は合議の上「反則」とする。
 - ⑤ 柄革に滑り止め（ゴム等）や模様をついた竹刀の使用を禁止する。
 - ⑥ 大きさ、模様を含めて華美な面乳革の使用を禁止し、黒及び紺の無地とする。チーム名・チーム章などの刺繍（剣道着・袴）は、大きさ・色を含めて華美にならないように配慮する。他の団体名の記入された剣道着や袴の使用は禁止する。

13 申し合わせ事項

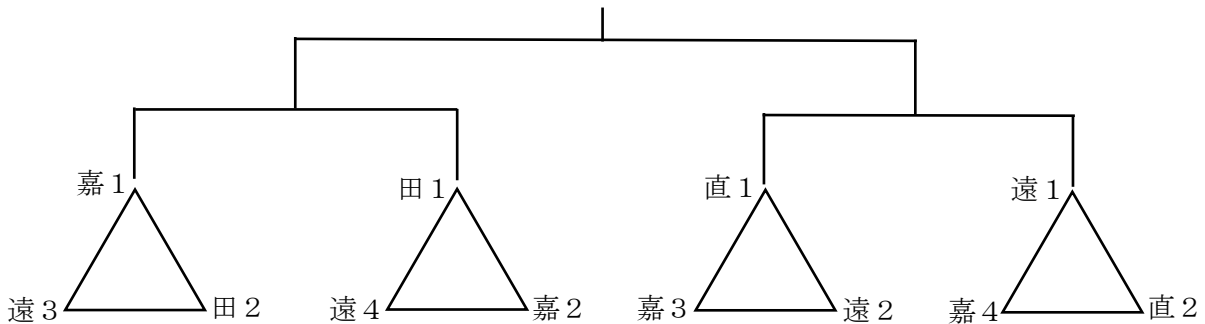
- (1) 筑豊地区最高の大会であることを認識し、校長または地域クラブ活動においては代表者の責任の下に大会参加生徒のマナーについては、指導の徹底を図る。
- (2) 選手は「面マスク」または「シールド」を装着する。髪が長い場合は判定に支障をきたさないよう、目印にかからないように束ねる。
- (3) 監督や選手による応援は拍手のみを徹底する。保護者（応援席）からの声援についても注意を促す。

14 組み合わせ

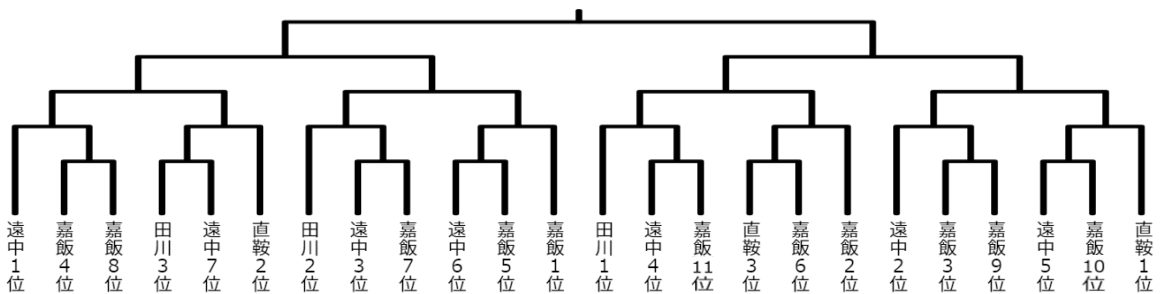
【女子団体戦】



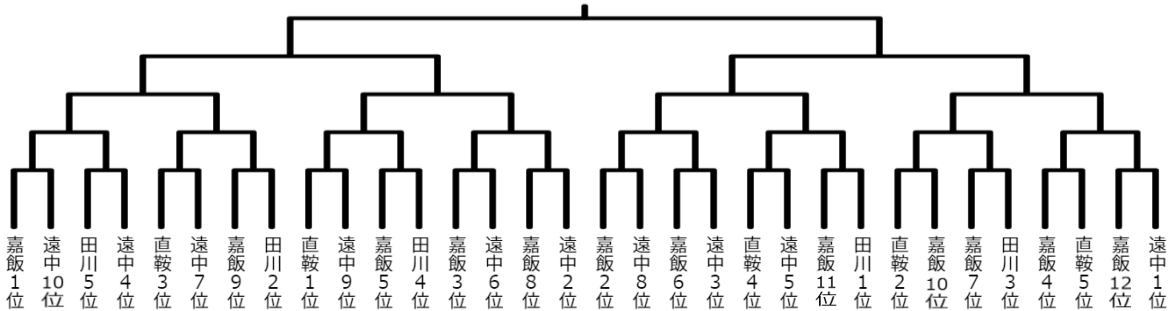
【男子団体戦】



【女子個人戦】



【男子個人戦】



※ 予選リーグの試合順序は、各市郡大会における通過順位で上位から①, ②, ③とすると、第一試合を①-③, 第二試合を②-③, 第三試合を②-①とする。

※ 団体の各地区の参加数及び組み合わせは毎年見直す。個人戦の組み合わせについても同様とする。

15 参加料

登録選手一人につき300円とする。大会当日の受付時に大会参加料申請書と共に徴収する

16 その他

- (1) つば競り合いの解消に至る時間は「一呼吸（目安として3秒）」とする。相互に分かれようとしている途中の打突は有効としない。分かれようと思わせて打突する行為は反則を適用する場合がある。
- (2) 試合の公正を害する行為や不当な押し出し、抜き胴への足かけ、「かち上げ」「振り倒し」などの危険な行為に対する反則は厳格にとる。その場合、主審の宣告に際しては教育的配慮により当該選手にわかるように説明する。なお、危険な行為（かち上げなど）があった場合には反則負けとする場合がある。その際には合議の上、主審は審判主任に確認する。審判主任は必要があれば審判長に確認する。
- (3) 審判旗は各自で持参して使用する。審判員は試合中マスクを着用しない。
- (4) AEDは事務室に設置している。